（1）主題名　心をこめて接する　〔小学校高２－（1）〕　関連項目　〔２－（２）〕

（2）ねらい　常に礼儀正しく，真心をもって人に接しようとする態度を育てる。

（3）資料名　「気持ちと言葉」（出典：読み物資料とその活用　文部省）

資料の概要
日常生活の中での，ごくありふれた現象をとらえた随想３点から成り立っている。ここでは，２番目の資料の花屋さんの店先にぶら下がっている１枚の札「道を尋ねた人，１回につき１０００円，ただし礼儀正しい人はタダ」を取り上げ，気持ちと言葉について考えさせた

（4）学習指導過程

	学　習　活　動	主な発問と児童の心の動き	留　意　点
導入	1　経験を出し合う。	○言われてうれしかった言葉を話し合う。 ・ありがとう　　・大きくなったね ・おはよう	○自由に出し合える雰囲気をつくる。
展開	2　資料から場面状況をつかむ。	○資料から，場面の状況をつかもう。 ・駅前の花屋さんには，不思議な札が下がっている	○資料の状況を共通理解させる。
	3　課題を確認する。	○課題を確認しよう。 なぜ「道を尋ねた人，一回につき千円　ただし礼儀正しい人はタダ　」の札をぶらさげたのだろう。	○児童が疑問に思っている状況から課題を設定する。
	4　考えを出し合う。	○課題に対する自分の考えを出し合おう。 【お金もうけ】 ・たくさんの人がやって来る ・尋ね人で商売ができない 【面倒だ，腹が立つ】 ・忙しくて商売ができない ・同じことを何度も聞かれる 【みんなのことを考えて】 ・言葉づかいや態度に気付く人になってほしい ・なぜだろうと立ち止まって考えるだろう	○ネームプレートを使い，課題に対する一人一人の判断とその理由をはっきりさせる。 ○理由の違いを分類・整理して板書し，自他の考えの違いに気付かせる。
	5　質問や意見を出し合い，追究する。	○お金を取ることが礼儀正しさにつながるのだろうか。 ・お金を取られないために意識するのでは ・その場限りのもので，本当の礼儀は身につかないのでは ○礼儀正しさとはどういうことだろうか。 ・相手のことを考えて心を込めて接することでは	○矛盾やくいちがいについて意見を出し合い，焦点化していく。 ○深めるために，左のような発問を準備しておく。 ○役割演技をしながら，体験的に考えさせる。
終末	6　まとめをする。	○今日の学習での自分の考えをまとめよう。 ・心を込めて礼儀正しく接したいな。	○自分を振り返りながら自分の言葉でまとめる。

実践報告にみる留意事項

１　資料・題材について

日常生活の中のさりげない，それでいて考えさせられる一こまが描かれている資料３編。中でも２番目の資料は，児童が「おやっ。」と関心をもつであろう少し変わった札が店先にぶら下がっているというものである。札に込められた意味を考える中で，礼儀について考えることができるおもしろい資料である。

２　指導過程の工夫

「道を尋ねた人，１回につき１０００円。ただし礼儀正しい人はタダ」の札を準備し，駅前の花屋さんにこんな札がかかっていたと話す。児童の「なぜだろう」という思いから，学習課題を「なぜ，札をぶらさげたのだろう」と提示する。

課題に対する一人一人の考えををスタートとし，集団によって考えを深める。

言葉による思考だけでなく，本時では，役割演技を取り入れることにより，言葉づかいや態度について体感的に深めていく。また，導入でも役割演技を取り入れ，展開時と比較しながら深めていくこともできる。

３　発問の工夫

課題に対してのそれぞれの考えを出し合った後，「質問や意見はありませんか」と問う。ずれやくいちがいについて相手に質問することを通して，焦点化し深めていくためである。児童の思考の流れに沿いながら進めるが，花屋さんの札にある礼儀とお金とのかかわりから，「お金を取ることは礼儀正しさにつながるのだろうか。」という発問も準備し，考えを深めるきっかけにする。

４　児童の反応

課題に対して次のような意見が出された。「同じことを何度も聞かれるし，店の仕事もできなくて腹が立つから」「商売ができないので，お金儲けを考えて」「礼儀に気付いてほしいので」等々。

質問や意見を出し合う中で，「お金を取っていたら店の評判が悪くなり，お客は来ない。お金儲けどころじゃないし，礼儀にも気付いてもらえない。」という意見が出た。そこで「お金を取ることが礼儀正しさにつながるか。」について意見交流した。

お金を取られると思うと緊張して丁寧な言い方をするという意見もあったが，それは一時的なものであり，本当の力にはならず他の場所では役に立たない。それより，相手のことを思いやる気持ちや接し方が大切なのだと気付くことができた。

５　授業後のフォローアップ

授業後，意識して丁寧な言葉づかいを心がけようとする姿が見られた。しかし，日常生活での継続的な指導の中で身につけていくことが大切であり，そのためには，保護者や地域を含めての活動にしていきたい。今後も，よりよい人間関係を築いていくために，誰に対しても礼儀正しく，真心のこもった言葉や態度で接することができるよう取り組んでいきたい。

（竹尋小学校）